

研究計画書

2023 年 9 月 6 日

所属：糖尿病代謝内科

主研究者：一町澄宜

共同研究者：肘井慧子、平田久美子、石田和史

研究テーマ：Covid-19 罹患後に発症した劇症 1 型糖尿病の臨床的特徴及び HLA について検討

1. 研究の背景

劇症 1 型糖尿病は 2000 年に今川らにより提唱された疾患である。ウィルス感染した膵島への免疫反応により β 細胞が破壊されることにより生ずると考えられており、自己免疫による β 細胞の破壊とは機序が異なるとされている。糖尿病にはいくつか特定の HLA 遺伝子型が疾患感受性遺伝子として知られている。また、劇症 1 型糖尿病の発症に寄与する HLA は、自己免疫性 1 型糖尿病とは異なることが報告されている。近年、Covid-19 罹患や SARS-CoV-2 mRNA ワクチンに関連した劇症 1 型糖尿病が報告されているが、症例数は少なくその臨床的特徴や HLA ハプロタイプについては不明な点が多い。

2. 研究目的

Covid-19 罹患後に発症した劇症 1 型糖尿病症例の臨床的特徴や HLA ハプロタイプを報告する。

3. 研究方法

- 1) 研究方法：臨床研究（研究目的の採血を含む症例報告）
- 2) データ収集期間：2022 年 4 月～
- 3) 調査対象者：2022 年 4 月以降に Covid-19 罹患後に劇症 1 型糖尿病を発症した患者 1 名を対象
- 4) データ収集方法：現病歴や治療経過、各種臨床パラメーターなどのカルテ情報を利用する。さらに一般診療の際の採血に、上乗せ採血として HLA 検査を行い結果を報告する。

4. 倫理的配慮

当院での倫理委員会の承認を得る。データは個人が特定されないよう配慮し、本研究以外では使用しない。

5. その他

本研究の結果は、2023 年 10 月の日本糖尿病学会中国四国地方会及び 2024 年 5 月の日本糖尿病学会年次学術総会にて発表予定である。